

第2回 大田区再犯防止推進会議 議事録

《日時》 令和5年1月18日（水曜日）午前10時から11時30分

《会場》 大田区役所本庁舎5階 特別会議室

《議事》 大田区の再犯者に係る状況
大田区再犯防止推進計画における重点課題と取組み
(令和3年度実績報告)
意見交換

《参加委員》

大田区再犯防止推進会議委員

大田区保護司会	会長
大田区保護観察協会	会長
大田区更生保護女性会	会長
大田区自治会連合会	会長
大田区社会福祉協議会	会長
糀谷地区民生委員児童委員協議会	会長
大田区青少年対策地区委員会会長会	会長
おおた社会福祉士会	副会長
おおたTSネット	代表

庁内連携部署

総務部	総務課長 人権・男女平等推進課長 経理管財課長 生活安全課長
地域力推進部	青少年健全育成担当課長
福祉部	福祉支援調整担当課長 自立支援促進担当課長 子ども生活応援担当課長 高齢福祉課長 障害福祉課長
健康政策部	生活衛生課長
まちづくり推進部	住宅担当課長
教育総務部	指導課長 教育センター長

《資料》 大田区の再犯者に係る状況

進行：

1 委員長選出

委員の互選により、大田区保護司会会長を委員長として選出した。

2 議事要旨

大田区内の再犯者に係る状況について、令和3年の数値をもとに事務局から説明があった。

つづいて、大田区再犯防止推進計画における重点課題と取組みについて、令和3年度実績を庁内連携部署の参加管理職から報告があった。

その後、参加委員と意見交換を行った。

《主な意見》

- ・ 共通の話題の共有をし、理解力を高める必要がある。
- ・ これからの時代は未知なることが多いため、行政が主導となり、「重層的な連携」が機能すると、それぞれの事業の推進に役立つだろう。
- ・ 司法と福祉の連携が地域に広がっていくと、再犯防止につながると思う。
- ・ 社会を明るくする運動は、例年保護司会をはじめ、自治会連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、青少年対策地区委員会など、地域の皆様、更生保護関係団体にご協力いただき、活動している。地道な活動の結果が犯罪の件数を減らしている。再犯者率を減らすため、区や関係団体との協力により再犯防止推進計画を有効なものとしていきたい。
- ・ 社会を明るくする運動は、各地区で感染症予防対策を講じながら、工夫して実施している。できることを精一杯取り組んでいきたい。
- ・ 再犯はなぜ起こってしまうのか、紐解いていくべきである。家族・生活・職業・相談相手がいないなど、対象者は悩み、保護司が間に入って話を聞くが、できることに限界はある。この会議が皆様と連携を深める大きな糧となってほしい。
- ・ 高齢の単身世帯などへは定期的な見守り・見回りをするなど、人と人とのつながりを大事にしていきたい。
- ・ 犯罪から地域社会へ復帰するには、周囲の理解が欠かせない。